

平成18事業年度

決 算 報 告 書

第 3 期

自 平成18年 4月 1日
至 平成19年 3月31日

国立大学法人 琉球大学

平成18年度 決算報告書

国立大学法人琉球大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	14,235	14,235	0	
施設整備費補助金	26	26	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	37	52	15	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	55	55	0	
自己収入			0	
授業料、入学料及び検定料収入	4,516	4,458	△ 58	(注2)
附属病院収入	10,503	11,515	1,012	(注3)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	162	204	42	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	710	1,125	415	(注5)
長期借入金	221	221	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	68	80	12	(注6)
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	368	238	△ 130	(注7)
計	30,901	32,209	1,308	
支出				
業務費	23,392	23,387	△ 5	(注8)
教育研究経費	12,871	12,091	△ 780	
診療経費	10,521	11,296	775	
一般管理費	4,556	4,857	301	(注9)
施設整備費	302	302	0	
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	37	44	7	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	710	1,029	319	(注11)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	1,904	1,902	△ 2	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	30,901	31,521	620	
収入-支出	0	688	688	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が15百万円多額となっております。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、志願者数の減少による検定料収入の減額5百万円、入学者増による入学料収入の増額21百万円、授業料収入については、休学者増による減額8百万円、授業料免除の増額による減額10百万円、予算段階での見込が過大であったことによる減額56百万円。以上の理由により予算金額に比して決算金額が58百万円少額となっております。
- (注3) 附属病院収入については、診療内容の変更等により手術件数の増及び平均在院日数の短縮化、診療単価の増が図られたことにより、予算金額に比して決算金額が1,012百万円多額となっております。
- (注4) 雑収入については、主として財産貸付料の増や弁償金及び違約金の増等により、予算金額に比して決算金額が42百万円多額となっております。
- (注5) 受託研究や寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して415百万円決算金額が多額となっております。
- (注6) 承継剰余金については、予定していた損害賠償訴訟費用が予定額より増えたこと等により、予算金額に比して決算金額が12百万円多額となっております。
- (注7) 目的積立金取崩については、予算段階よりも計画を縮小したため、予算金額に比して決算金額が130百万円少額となっております。
- (注8) 業務費については、教育研究経費における人件費の支出が予算段階に比して189百万円少なかったこと。特別教育研究経費による設備購入費が次年度に270百万円繰越されたこと。その他全学的に経費節約に努めたことにより、教育研究経費が予算額に比して決算額が780百万円小額となっております。診療経費においては、(注3)に示した要因等により、薬品・医療材料費等が増え、予算金額に比して決算金額が775百万円多額となっております。
- (注9) 一般管理費については、退職手当支給対象者の増等により、予算金額に比して決算金額が301百万円多額となっております。
- (注10) (注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が8百万円多額となっております。
- (注11) (注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が318百万円多額となっております。